

mini

DISCLOSURE

2014.9
Vol. 38

2014.4.1 » 2014.9.30

ミニディスクロージャー誌 第92期 営業の中間ご報告



長期ビジョン「MVP」・中期経営計画「MVP 1/3 (ワンサード)」

長期ビジョン「MVP (Musashino Value-making Plan)」

埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』 ～Value-making Bank～

埼玉に新たな価値を生み出すことにより、埼玉の発展を主導し、
お客さまの期待に応えることで自らも成長する



新中期経営計画「MVP 1/3 (ワンサード)」

計画期間：平成25年4月～平成28年3月

3年後に
実現する姿

埼玉県の成長に貢献する「地域 No.1 銀行」に向けた第1フェーズ(態勢強化期間)

成長
ドメイン

チャンネルと人材の強化ならびに経営資源の
傾斜配分により、地域金融機関として将来
に亘り成長戦略を継続しうる土台をつくる

創造
ドメイン

地域の新たな産業やビジネスモデル
などの事業化構想を自ら企画、実現
しうる態勢を整備する

計画の全体像

意識、行動、経営資源の「シフト」

成長戦略の実現のための3本の柱

営業戦略

- 店舗を軸とした営業密度とエリアの拡大
- 人を軸としたお客さま接点の拡大と課題解決能力の強化
- 非対面チャンネルを軸とした各種施策の展開

人材戦略

- 人材ポートフォリオ計画の構築・運用
- 人材育成の再構築

インフラ構築

- 業務プロセスの見直し
- 収益を生み出すシステムへの重点投資

創造戦略の始動

経営管理態勢
の強化

グループ戦略
の強化

むさしの
ブランドの
深化

ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、平成26年9月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成26年度前半の国内経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順などにより足踏みの状況が続き、緩やかに回復しているものの企業活動を抑制する材料もあり、不透明感が感じられる状況です。

県内経済につきましても国内経済と同様に、緩やかに回復しているものの下振れリスクも有しております。また、日銀の追加金融緩和による影響から円安が進行し、県内の中小企業への影響にも留意が必要な状況です。

一方、埼玉県は、圏央道の県内全面開通や北陸新幹線の延伸など交通インフラの整備を基点とした設備投資の需要が見込まれるなど、明るい材料もあります。

このようななか、中期経営計画「MVP 1/3(ワンサード)」の折り返しとなります26年9月期は、貸出金・預金ともに増勢を維持し、貸出金残高は、前年同期比1,567億円増加し、3兆1,584億円となりました。事業性貸出先数につきましても、新規開拓活動に注力しましたことから、2万先との取引を回復しております。

また、預金等は前年同期比1,213億円増加し3兆8,983億円となり、預金、貸出金を合わせますと、創業以来、初めて7兆円を突破することが出来ました。

収益面につきましては、一時払終身保険を中心とした預り資産の販売が好調であったこと等から役務取引等利益が増加しました一方で、低位な金利水準を背景に資金利益が減少したこと等から、経常利益は77億円、中間純利益は52億円となりました。

また、中間配当につきましては、日頃のご支援にお応えするため、中間配当金を5円増額し、1株当たり40円、期末配当金とあわせ年間80円とする予定です。

現在私どもは、10年後の目指すべき姿として「埼玉に新たな価値を創造する『地域No.1銀行』」を標榜した長期ビジョンの達成を目指し、中期経営計画「MVP 1/3(ワンサード)」で掲げました諸施策にスピード感を持って取組んでおります。

当行を取巻く環境は、めまぐるしく変化しており、県内外他行の攻勢もますます激しくなっておりますが、「地域の皆さまから一番に選ばれる銀行」を目指し、金融面での支援や経営課題の解決に積極的に取組み、地元埼玉の成長に向けてお客さまと地域への責任を果たし、県内での存在感をより一層高めてまいり所存です。

今後とも皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成26年12月

頭取 **加藤喜久雄**

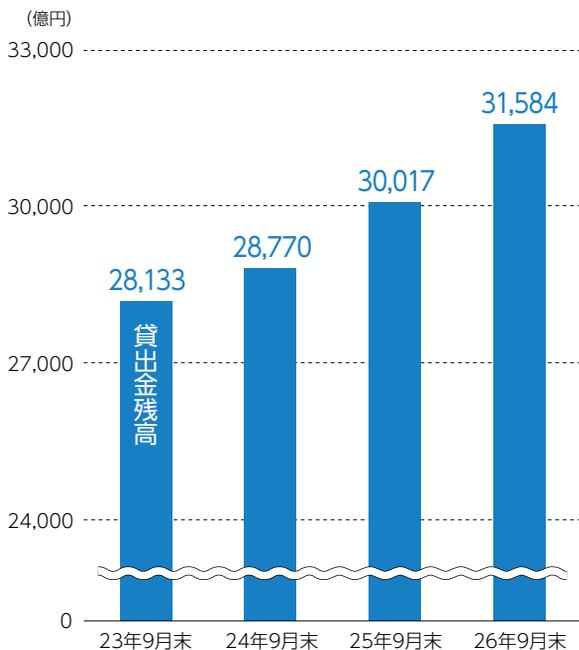


業績ハイライト

- 貸出金の状況
- 預金等・預り資産の状況
- 損益の状況

貸出金の状況

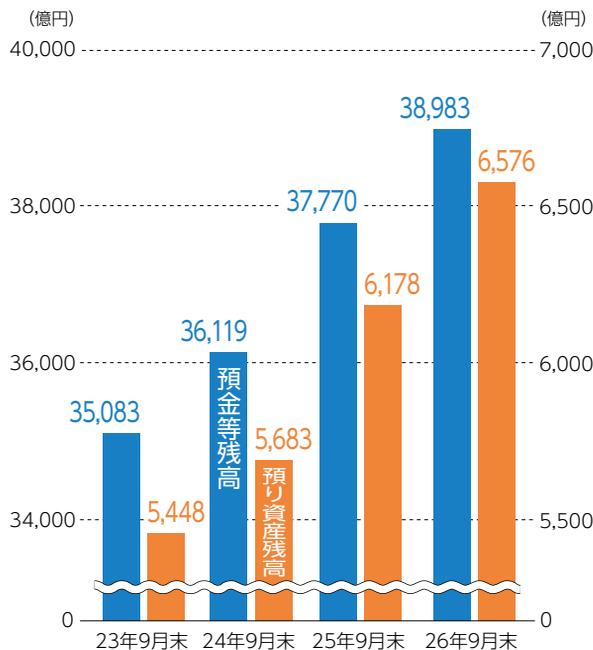
貸出金残高(26年9月末) 3兆1,584億円



県内地元企業及び個人のお客さまのニーズにお応えすべく積極的に取組み、貸出金の増強に努めました結果、前年同期比1,567億円(年率5.2%)増加し、3兆1,584億円となりました。

預金等・預り資産の状況

預金等残高(26年9月末) 3兆8,983億円
預り資産残高(26年9月末) 6,576億円



預金等残高は、地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に努めました結果、前年同期比1,213億円(年率3.2%)増加し、3兆8,983億円となりました。

預り資産残高は、一時払終身保険等の販売が好調であり、前年同期比398億円(年率6.4%)増加し、6,576億円となりました。

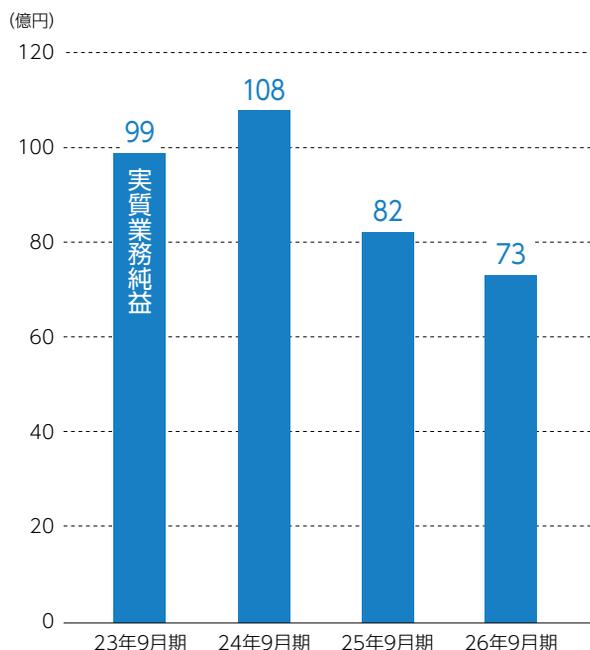
※預金等とは、預金に譲渡性預金を加えたものです。

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

損益の状況

実質業務純益(26年9月期)

73億円



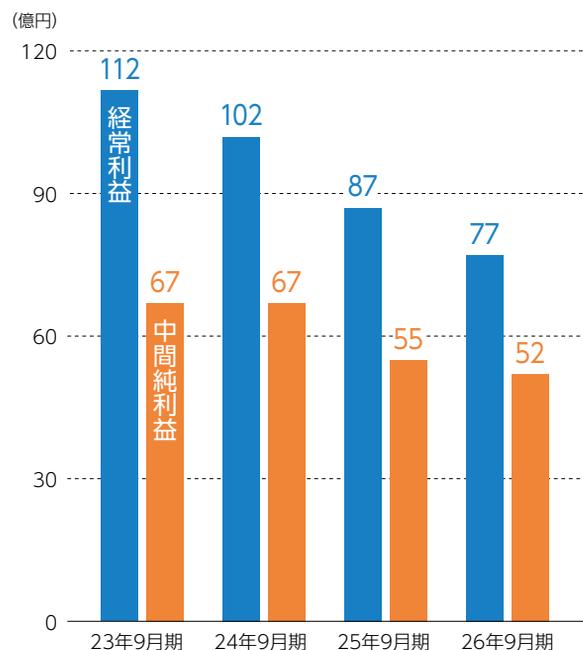
実質業務純益は、役務取引等利益及び債券関係損益が増加したものの、資金利益が低位な金利水準を背景に減少したこと等から、前年同期比8億円減少し73億円となりました。

経常利益(26年9月期)

77億円

中間純利益(26年9月期)

52億円



経常利益は、前年同期比10億円減少し77億円となりました。

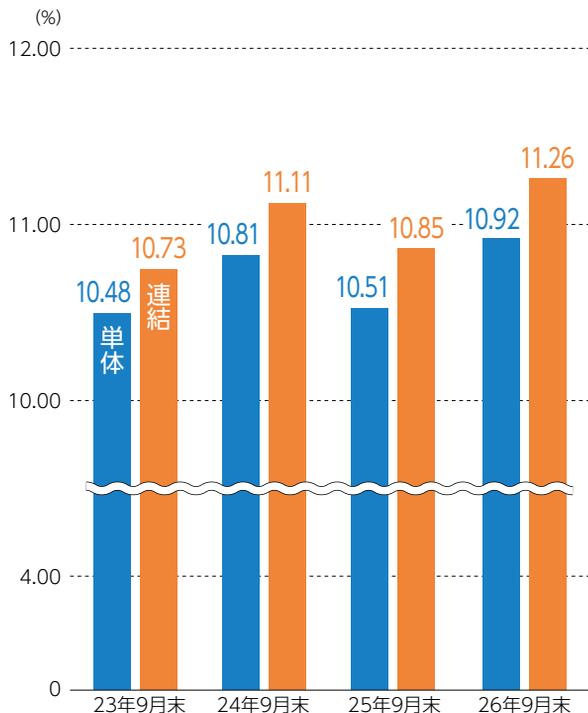
中間純利益は、前年同期比2億円減少し52億円となりました。

業績ハイライト

■自己資本比率 ■格付
■不良債権の状況

自己資本比率

単体自己資本比率(26年9月末) 10.92%
連結自己資本比率(26年9月末) 11.26%



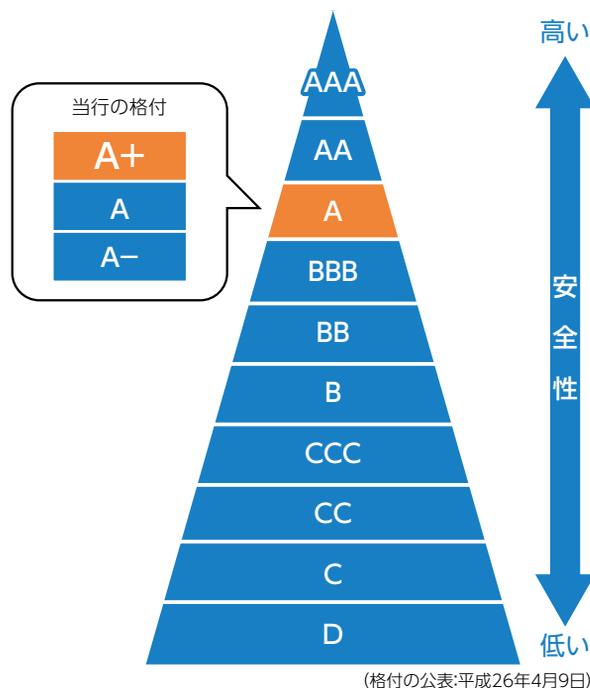
26年9月末の単体自己資本比率は、前年同期比0.41ポイント上昇し、10.92%となりました。当行の健全性は一段と高まり、十分な貸出余力を有しております。

※26年9月末の自己資本比率はバーゼルⅢ国内基準により算出したものです。

格付(長期発行体格付)

長期発行体格付

A+



当行は、株式会社日本格付研究所から銀行の総合的な債務履行能力を評価する「長期発行体格付」について「A+」を取得しております。

「A+」は、「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価です。

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

不良債権の状況

不良債権残高(26年9月末)

707億円

不良債権比率(26年9月末)

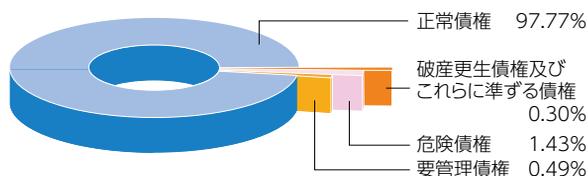
2.22%

金融再生法に基づく開示債権

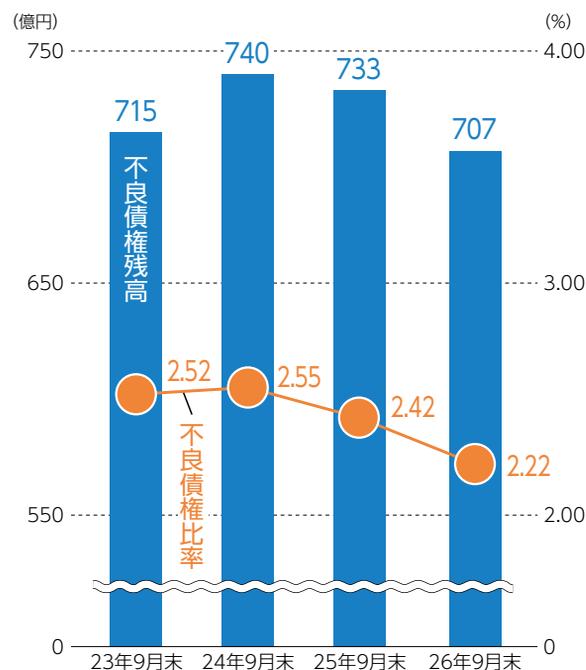
(億円)

	25年9月末	26年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	111	96	△15
危険債権	450	455	5
要管理債権	172	156	△16
小計(不良債権)	733	707	△26
正常債権	29,442	31,047	1,605
合 計	30,175	31,754	1,579

(※上記の計数は億円未満を四捨五入しています。)



(※上記の計数は小数点第2位未満を四捨五入しています。)



経営改善支援などに注力したことから、不良債権残高は前年同期比26億円減少し、707億円となりました。この結果、不良債権比率は前年同期比0.20ポイント改善し、2.22%となりました。

業績ハイライト

■中間財務諸表(要約)

中間貸借対照表

(単位:百万円)

	平成 26 年 9 月末
(資産の部)	
現金預け金	218,400
コールローン	15,000
買入金銭債権	8,607
商品有価証券	67
金銭の信託	1,485
有価証券	736,007
貸出金	3,158,487
外国為替	2,353
その他資産	6,938
有形固定資産	35,451
無形固定資産	2,793
前払年金費用	8,034
支払承諾見返	8,282
貸倒引当金	△ 11,927
資産の部合計	4,189,983

(単位:百万円)

	平成 26 年 9 月末
(負債の部)	
預金	3,777,326
譲渡性預金	121,061
借入金	19,278
外国為替	276
社債	25,000
その他負債	11,467
賞与引当金	1,191
退職給付引当金	6,200
睡眠預金払戻損失引当金	407
偶発損失引当金	560
繰延税金負債	5,024
再評価に係る繰延税金負債	4,910
支払承諾	8,282
負債の部合計	3,980,986
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,351
資本準備金	38,351
利益剰余金	94,549
利益準備金	10,087
その他利益剰余金	84,462
自己株式	△ 795
株主資本合計	177,849
その他有価証券評価差額金	24,692
繰延ヘッジ損益	△ 1,194
土地再評価差額金	7,603
評価・換算差額等合計	31,101
新株予約権	46
純資産の部合計	208,996
負債及び純資産の部合計	4,189,983

中間損益計算書

(単位:百万円)

	平成 26 年度 中間期
経常収益	32,105
資金運用収益	23,878
(うち貸出金利息)	(20,160)
(うち有価証券利息配当金)	(3,622)
役務取引等収益	5,245
その他業務収益	1,441
その他経常収益	1,539
経常費用	24,350
資金調達費用	1,514
(うち預金利息)	(850)
役務取引等費用	2,569
その他業務費用	531
営業経費	18,755
その他経常費用	979
経常利益	7,755
特別損失	48
税引前中間純利益	7,706
法人税、住民税及び事業税	2,523
法人税等調整額	△ 85
法人税等合計	2,438
中間純利益	5,268

※本誌に掲載の数値は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

中間株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本										
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金				自己 株式	株主資本 合計
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金			利益剰余金 合計		
						不動産圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	45,743	38,351	—	38,351	10,087	408	67,560	9,894	87,950	△ 819	171,225
会計方針の変更による 累積的影響額								2,677	2,677		2,677
会計方針の変更を反映した 当期首残高	45,743	38,351	—	38,351	10,087	408	67,560	12,571	90,627	△ 819	173,903
当中間期変動額											
剰余金の配当								△ 1,341	△ 1,341		△ 1,341
中間純利益								5,268	5,268		5,268
不動産圧縮積立金の取崩						△ 3		3	—		
別途積立金の積立							7,000	△ 7,000	—		
自己株式の取得										△ 5	△ 5
自己株式の処分			△ 4	△ 4						29	24
利益剰余金から 資本剰余金への振替			4	4				△ 4	△ 4		—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)											
当中間期変動額合計	—	—	—	—	—	△ 3	7,000	△ 3,073	3,922	23	3,946
当中間期末残高	45,743	38,351	—	38,351	10,087	404	74,560	9,497	94,549	△ 795	177,849

(単位:百万円)

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	18,439	△ 999	7,603	25,044	57	196,327
会計方針の変更による 累積的影響額						2,677
会計方針の変更を反映した 当期首残高	18,439	△ 999	7,603	25,044	57	199,004
当中間期変動額						
剰余金の配当						△ 1,341
中間純利益						5,268
不動産圧縮積立金の取崩						
別途積立金の積立						
自己株式の取得						△ 5
自己株式の処分						24
利益剰余金から 資本剰余金への振替						
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)	6,252	△ 194	—	6,057	△ 11	6,045
当中間期変動額合計	6,252	△ 194	—	6,057	△ 11	9,991
当中間期末残高	24,692	△ 1,194	7,603	31,101	46	208,996

業績ハイライト

■中間連結財務諸表(要約)

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	平成 26 年 9 月末		平成 26 年 9 月末
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	218,532	預金	3,768,938
コールローン及び買入手形	15,000	譲渡性預金	121,061
買入金銭債権	8,607	借入金	25,633
商品有価証券	67	外国為替	276
金銭の信託	1,485	社債	25,000
有価証券	741,293	その他負債	23,796
貸出金	3,145,731	賞与引当金	1,232
外国為替	2,353	役員賞与引当金	5
リース債権及び リース投資資産	16,139	退職給付に係る負債	5,843
その他資産	18,744	利息返還損失引当金	85
有形固定資産	37,102	睡眠預金払戻損失引当金	407
無形固定資産	2,856	ポイント引当金	69
退職給付に係る資産	6,360	偶発損失引当金	560
繰延税金資産	1,534	繰延税金負債	4,570
支払承諾見返	8,282	再評価に係る繰延税金負債	4,910
貸倒引当金	△ 16,868	支払承諾	8,282
		負債の部合計	3,990,675
		(純資産の部)	
		資本金	45,743
		資本剰余金	38,351
		利益剰余金	96,940
		自己株式	△ 795
		株主資本合計	180,239
		その他有価証券評価差額金	24,713
		繰延ヘッジ損益	△ 1,194
		土地再評価差額金	7,603
		退職給付に係る調整累計額	△ 828
		その他の包括利益累計額合計	30,293
		新株予約権	46
		少数株主持分	5,966
		純資産の部合計	216,545
資産の部合計	4,207,221	負債及び純資産の部合計	4,207,221

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成 26 年度 中間期
経常収益	37,661
資金運用収益	23,900
(うち貸出金利息)	(20,160)
(うち有価証券利息配当金)	(3,640)
役員取引等収益	5,714
その他業務収益	1,857
その他経常収益	6,188
経常費用	28,460
資金調達費用	1,534
(うち預金利息)	(850)
役員取引等費用	2,322
その他業務費用	531
営業経費	19,360
その他経常費用	4,712
経常利益	9,200
特別損失	65
税金等調整前中間純利益	9,134
法人税、住民税及び事業税	2,821
法人税等調整額	33
法人税等合計	2,855
少数株主損益調整前中間純利益	6,279
少数株主利益	254
中間純利益	6,024

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	平成 26 年度 中間期
少数株主損益調整前中間純利益	6,279
その他の包括利益	6,160
その他有価証券評価差額金	6,260
繰延ヘッジ損益	△ 194
退職給付に係る調整額	95
中間包括利益	12,439
親会社株主に係る中間包括利益	12,178
少数株主に係る中間包括利益	261

※本誌に掲載の数値は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	45,743	38,351	89,584	△ 819	172,859
会計方針の変更による 累積的影響額			2,677		2,677
会計方針の変更を反映した 当期首残高	45,743	38,351	92,261	△ 819	175,537
当中間期変動額					
剰余金の配当			△ 1,341		△ 1,341
中間純利益			6,024		6,024
自己株式の取得				△ 5	△ 5
自己株式の処分		△ 4		29	24
利益剰余金から 資本剰余金への振替		4	△ 4		—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)					
当中間期変動額合計	—	—	4,678	23	4,702
当中間期末残高	45,743	38,351	96,940	△ 795	180,239

(単位:百万円)

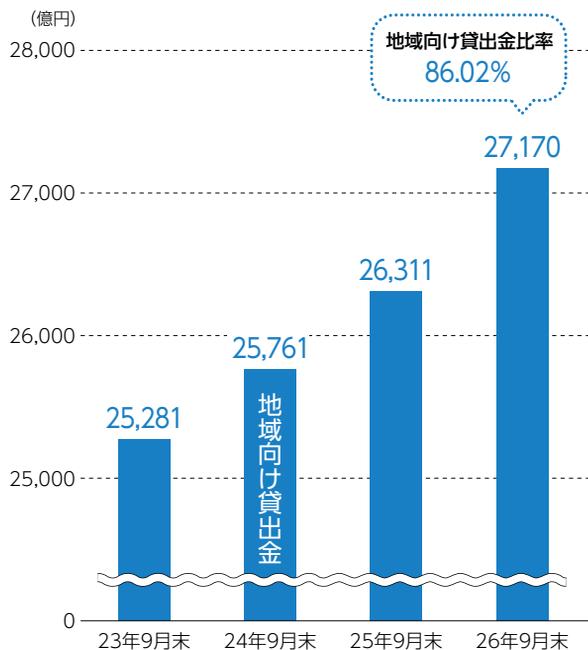
	その他の包括利益累計額					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	18,460	△ 999	7,603	△ 924	24,140	57	5,708	202,766
会計方針の変更による 累積的影響額								2,677
会計方針の変更を反映した 当期首残高	18,460	△ 999	7,603	△ 924	24,140	57	5,708	205,443
当中間期変動額								
剰余金の配当								△ 1,341
中間純利益								6,024
自己株式の取得								△ 5
自己株式の処分								24
利益剰余金から 資本剰余金への振替								—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)	6,253	△ 194	—	95	6,153	△ 11	257	6,400
当中間期変動額合計	6,253	△ 194	—	95	6,153	△ 11	257	11,102
当中間期末残高	24,713	△ 1,194	7,603	△ 828	30,293	46	5,966	216,545

業績ハイライト

- 地域向け貸出金
- 地域からの預金
- 地域からの預り資産
- 県内貸出金・預金シェア

地域向け貸出金

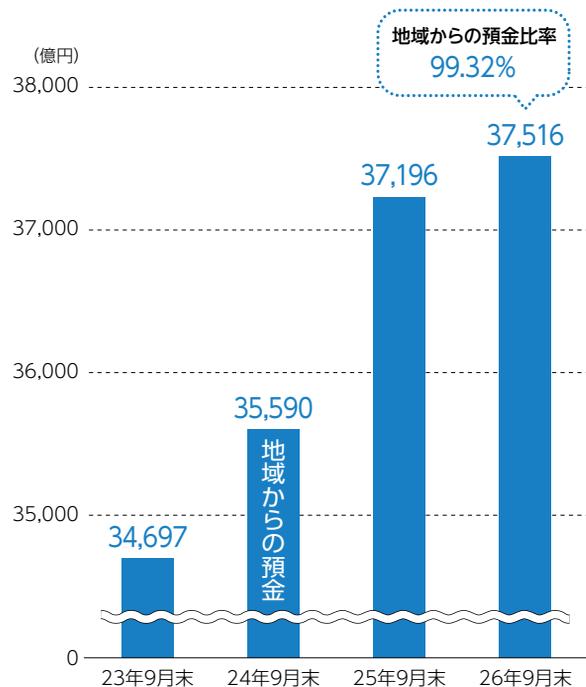
地域向け貸出金残高(26年9月末) 2兆7,170億円



26年9月末の地域向け貸出金残高は、前年同期比859億円増加し、2兆7,170億円となりました。また、地域向け貸出金比率は86.02%と引き続き高い水準を維持しております。

地域からの預金

地域からの預金残高(26年9月末) 3兆7,516億円



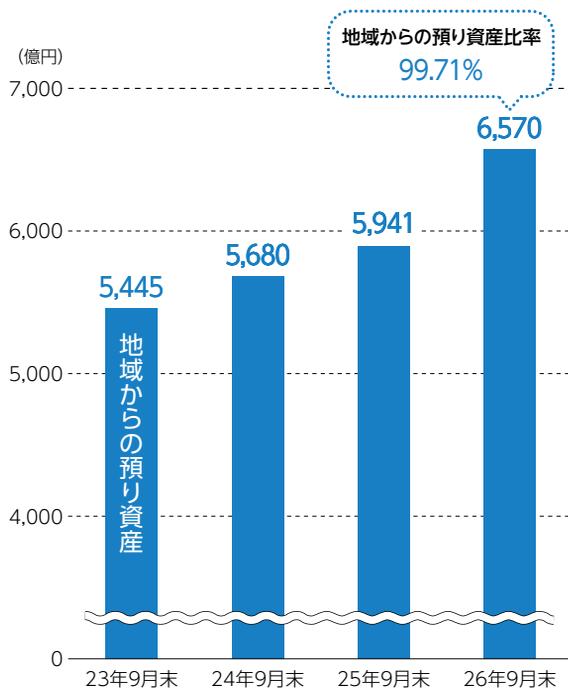
26年9月末の地域からの預金残高は、前年同期比320億円増加し、3兆7,516億円となりました。当行の預金全体の99.32%を占め、引き続き非常に高い割合となっております。

※ここでの「地域」は、埼玉県及び経済圏・生活圏が重なる県境地域(久米川支店・五霞支店の営業エリア)です。

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

地域からの預り資産

地域からの預り資産残高(26年9月末) 6,570億円



26年9月末の地域からの預り資産残高は、前年同期比629億円増加し、6,570億円となりました。

内訳としましては、投資信託が1,395億円(前年同期比+177億円)、生命保険が3,760億円(前年同期比+489億円)、国債等が1,415億円(前年同期比△37億円)となっております。

※投資信託は時価ベース、生命保険は販売累計額。

県内における貸出金シェア



26年9月末の埼玉県内の貸出金シェアは、前年同期比0.09ポイント上昇し、18.54%となりました。

出所:日本銀行調査統計局資料(国内銀行 銀行勘定ベース)

県内における預金シェア



26年9月末の埼玉県内の預金シェアは前年同期比0.15ポイント低下し、13.86%となりました。

出所:日本銀行調査統計局資料(国内銀行 銀行勘定ベース)

株式情報 (証券コード:8336)

株式のご案内

1 上場証券取引所	東京証券取引所第1部
2 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
3 定時株主総会	毎年6月に開催
4 剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
5 中間配当	中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
6 基準日	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
7 公告の方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
8 株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 [連絡先]〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) [ご注意]株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっておりますので、ご注意ください。

特別口座に記録された株主さまへ

- 1.特別口座のままでは売買を行うことはできません。証券会社等に株主さまご本人の口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座に振替請求を行ってください。
- 2.特別口座に記録された単元未満株式の買取請求、買増請求、住所変更等のお手続きは、上記の特別口座管理機関にお申し出ください。

株式の状況等 (平成26年9月末現在)

発行可能株式総数……………80,000,000株
発行済株式の総数……………33,805,456株
(うち自己株式……………269,421株)
株主数……………12,606名
単元株式……………100株

ホームページにて株主・投資家
向け情報をご案内しております。

<http://www.musashinobank.co.jp/irinfo/>



※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

大株主の状況 (平成26年9月末現在)

(千株・%)

株主名	当行への出資状況	
	持株数等	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,573	7.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,226	3.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,218	3.63
ザ・チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウト	875	2.61
武蔵野銀行従業員持株会	812	2.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	797	2.37
明治安田生命保険相互会社	735	2.19
住友生命保険相互会社	702	2.09
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	552	1.64
ピーエヌビー パリパセック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アパディーン グローバル クライアント アセツ	534	1.59

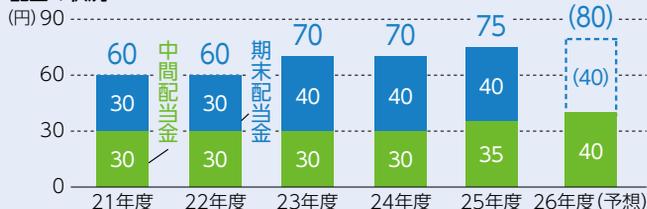
※持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

※持株比率は自己株式(269千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

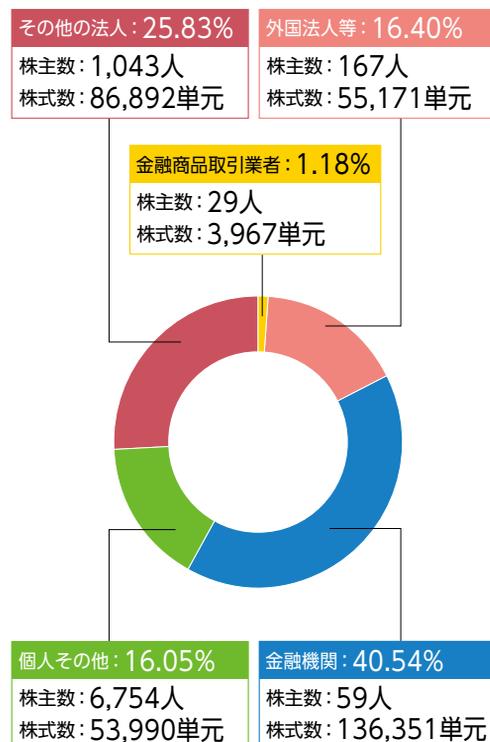
中間配当金のお知らせ

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、26年9月期の1株当たり中間配当金を5円増額し、40円とさせていただきます。

配当の状況



株式の所有者別構成 (平成26年9月末現在)



注1. 単元未満株式は、168,356株です。

注2. 自己株式269,421株は「個人その他」に2,694単元、単元未満株式に21株含まれております。

注3. 「その他の法人」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。

TOPICS

個人投資家の皆さまを対象に
県内7市10会場で会社説明会を開催

26年7月～8月、県内7市10会場で、個人投資家の皆さまを対象とした会社説明会を開催し、当行役員より業績や主な営業施策の取組みについてご説明しました。



いつもお客さま

26年11月4日(火)

大宮支店さいたま新都心出張所が
生まれ変わりました

さいたま新都心 パーソナルプラザ OPEN!

平日は17時まで、土・日・祝日も
営業しております!

(窓口は平日9時~15時の営業となります)

税理士が相続等のご相談にお応えします!

(平日はテレビ電話によるご相談、土・日・祝日は面談によるご相談となります)

ご予約制



さいたま市大宮区吉敷町4-261-1キャピタルビル2階
(JRさいたま新都心駅東口より徒歩1分)

	さいたま新都心パーソナルプラザ			大宮住宅ローンセンター (併設)
	窓口	相談コーナー	ほけんプラザ	
営業時間	平日 9:00~15:00	12/31~1/3、5/3~5/5を除く全日		9:00~17:00
お取り扱い業務	預金・為替・税金収納・預り資産等に関する業務	各種ご相談対応	生命保険に関する業務	住宅ローンに関する業務
電話番号	048-601-1571		0120-07-6340	048-601-2711

ATM業務提携のご案内

当行のキャッシュカードは他の金融機関やコンビニエンスストア等でもご利用いただけます!

提携先	お預入れ	お引出し	お振込み	残高照会
E-netATM イーネットマークのあるコンビニエンスストアやスーパー等	○	○	○	○
ローソンATM	○	○	○	○
セブン銀行ATM	○	○	○	○
全国キャッシュサービス(MICS) 全国の銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協等(一部ご利用いただけない金融機関やATMがあります。)		○	○	○
イオン銀行ATM		○	○	○
ゆうちょ銀行ATM		○	○	○
JR東日本 [VIEW ALTTE(ビューアルッテ)]ATM		○	○	○

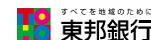
地方銀行他行との提携

当行のお客さまが以下の提携銀行のATMにて、また、提携銀行のお客さまが当行のATMにてキャッシュカードによる「お引出し」「お振込み」をご利用の場合、「ご利用手数料」・「お振込手数料」が割引となります。

① 首都圏地方銀行との提携



② 東邦銀行との提携



*提携先によりご利用条件が異なります。 **所定の「ATMご利用手数料」および、お振込みにつきましては「お振込手数料」がかかります。

まのそばに

店舗ネットワークのご案内

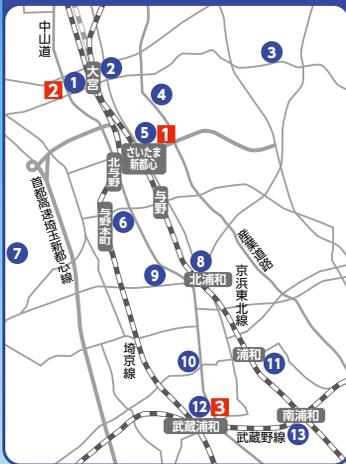
平成26年9月末現在

各店舗の地図・
連絡先はこちら



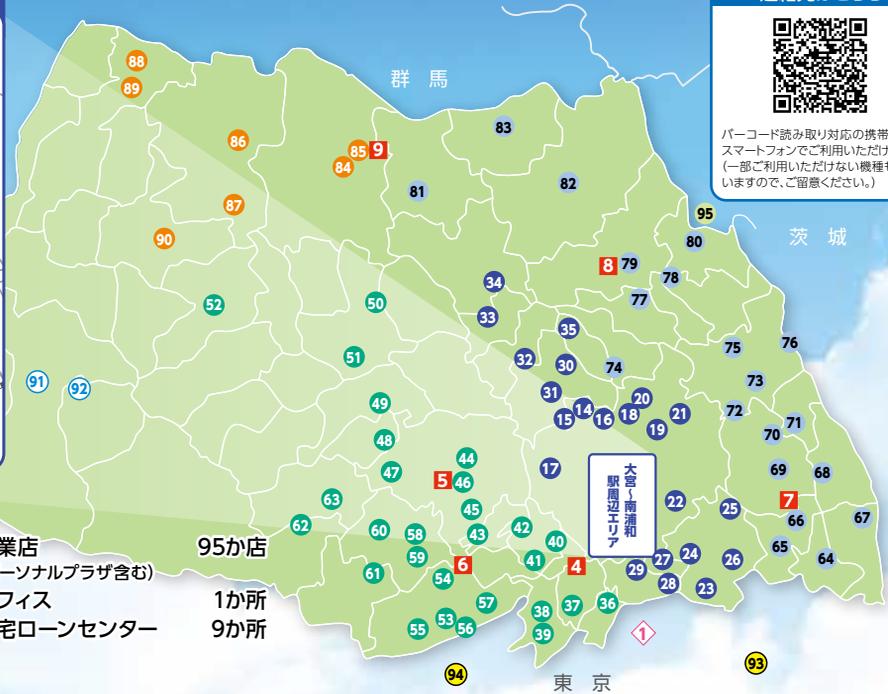
バーコード読み取り対応の携帯電話・スマートフォンでご利用いただけます。(一部ご利用いただけない機種もございますので、ご留意ください。)

大宮～南浦和 駅周辺エリア



埼玉県内 **92**か店
東京都 **2**か店
茨城県 **1**か店

営業店 95か店
(パーソナルプラザ含む)
オフィス 1か所
住宅ローンセンター 9か所



中央地域

さいたま市

- 1 本店営業部
- 2 大宮支店
- 3 片柳支店
- 4 天沼支店
- 5 さいたま新都心パーソナルプラザ
- 6 与野支店
- 7 白鷺支店
- 8 北浦和支店
- 9 北浦和西口支店
- 10 県庁前支店
- 11 浦和支店
- 12 武蔵浦和支店
- 13 南浦和支店
- 14 宮原支店
- 15 宮原西口支店
- 16 大宮北支店
- 17 指扇支店
- 18 東大宮支店

- 19 七里支店
- 20 深作支店
- 21 岩槻支店
- 22 東浦和支店
- 23 川口支店
- 24 西川口支店
- 25 東川口支店
- 26 鳩ヶ谷支店
- 27 蕨支店
- 28 戸田支店
- 29 戸田西支店
- 30 上尾支店
- 31 西上尾支店
- 32 桶川支店
- 33 北本支店
- 34 鴻巣支店
- 35 伊奈支店

西部地域

- 36 和光支店

- 37 朝霞支店
- 38 新座支店
- 39 新座南支店
- 40 志木支店
- 41 みずほ台支店
- 42 ふじみ野支店
- 43 大井支店
- 44 川越支店
- 45 新河岸支店
- 46 川越南支店
- 47 霞ヶ関支店
- 48 鶴ヶ島支店
- 49 坂戸支店
- 50 東松山支店
- 51 高坂支店
- 52 小川支店
- 53 所沢支店
- 54 新所沢支店
- 55 下山口支店
- 56 所沢駅前支店
- 57 東所沢支店

- 58 狭山支店
- 59 入管支店
- 60 狭山西支店
- 61 入間支店
- 62 飯能支店
- 63 日高支店

東部地域

- 64 八潮支店
- 65 草加支店
- 66 松原支店
- 67 三郷支店
- 68 吉川支店
- 69 越谷支店
- 70 大袋支店
- 71 松伏支店
- 72 武里支店
- 73 藤ヶ丘支店
- 74 蓮田支店
- 75 春日部支店
- 76 庄和支店

- 77 新白岡支店
- 78 杉戸高野台支店
- 79 久喜支店
- 80 幸手支店
- 81 行田支店
- 82 加須支店
- 83 羽生支店

北部地域

- 84 熊谷支店
- 85 熊谷東支店
- 86 深谷支店
- 87 川本支店
- 88 本庄支店
- 89 本庄南支店
- 90 寄居支店

秩父地域

- 91 秩父支店
- 92 横瀬支店

東京

- 93 東京支店
- 94 久米川支店

茨城

- 95 五霞支店

住宅ローンセンター

- 1 大宮住宅ローンセンター
- 2 大宮西口住宅ローンセンター
- 3 武蔵浦和住宅ローンセンター
- 4 朝霞住宅ローンセンター
- 5 川越住宅ローンセンター
- 6 所沢住宅ローンセンター
- 7 南越谷住宅ローンセンター
- 8 久喜住宅ローンセンター
- 9 熊谷東住宅ローンセンター

オフィス

- ◇ 板橋・練馬オフィス

事業者の皆さまの 最良のパートナーとして

事業者の皆さまの最良のパートナーとして、コンサルティング活動を積極的に推進し、経営上のさまざまな課題解決のご支援に取り組んでおります。

海外業務・海外

事業者の皆さまの海外業務・海外銀行等との業務提携をサポート、海外進出や現地法

海外業務・海外進出 関連ニーズ

- 資金調達
- 海外送金
- 販路拡大
- 輸出入手続
- 現地のさまざまな情報

など

創業・新事業展開をサポート



26年10月、創業や新事業の展開をご検討されている事業者の皆さまに対する支援を強化するため、「創業・新事業支援チーム」を新設しました。

日本政策金融公庫や埼玉県信用保証協会等と連携し、創業計画の策定や補助金の活用など、総合的なご支援を積極的に行っています。



情報を活用した課題解決支援

26年4月、「情報センター」を新設しました。事業者の皆さまの販路拡大や市場開拓、事業所や工場の新設に関わるニーズ等にお応えするため、資金面からのご支援だけでなく、ビジネスマッチング情報、不動産に関する情報、地域の情報など、行内外のさまざまな情報を集約し、積極的に発信しています。

ビジネスマッチング情報
(仕入先・外注先のご紹介)

不動産に関する情報

補助金に関する情報

地域のさまざまな情報

事業者の皆さまの、課題・ニーズを解決するため、専門業者のノウハウを活用してより専門性の高いサービスをご提供する有料ビジネスマッチングにも積極的に取り組んでいます。26年10月末現在、23社と業務提携しています。

進出をサポート

海外進出を積極的にご支援しています。

通じた販路拡大・資金調達のご支援、海外送金や輸出入手続きの
人設立等に関する情報のご提供・各種アドバイス等を行っています。

○海外展開一貫支援「ファストパス制度」を活用した効率的な海外展開支援
(日本貿易振興機構(JETRO)や外務省在外公館などからの円滑かつ相乗的な支援を実現)

○国際協力銀行(JBIC)地銀連携スキーム:地場銀行との提携

<インド> インドステイト銀行 <ベトナム> ベトコム銀行 <フィリピン> メトロポリタン銀行
<タイ> カシコン銀行 <インドネシア> バンクネガラインドネシア

○提携銀行への行員派遣(タイ)

○<中国> 人民元決済サービス(三菱東京UFJ銀行との提携)

○日本貿易保険(NEXI)との業務提携(新興国などへの輸出の際の貿易保険取次ぎ)

○国際協力機構(JICA)のODAを活用した海外展開支援

事業者の皆さまの安心のために

そのほか、事業者の皆さまの安定した企業経営をご支援しております。

事業承継・相続支援

事業保険のお取扱い

M & A支援

確定拠出年金(401k)のお取扱い

▶ 専門家によるコンサルティング

▶ 国内・海外におけるセキュリティ向上

▶ 売掛債権の保証

▶ 集配業務の代行

▶ 賃貸住宅等の建築

▶ 機械設備等のリース

▶ 産業用太陽光発電装置の設置 など

TOPICS

おかげさまで 2万社を超える事業者の皆さまと
お取引させていただいております



(※貸出取引のある営業性個人を含む。)

地域の未来に向けて

地域活性化に貢献します

地域の活性化に向け、人々が共に助け合う「共助」の取組みを支援するため、埼玉県と「共助社会づくりのための協力に関する協定」を締結しました。



▲埼玉県との「共助社会づくりのための協力に関する協定」を締結

地域活性化を応援する融資商品のお取扱い

- 「むさしのNPOサポートローン」のお取扱い
 - ▶ 地域の課題解決を担い、埼玉県内でも普及が進むNPO法人の皆さまを支援
- 「むさしの〈まちづくり〉にぎわいローン」のお取扱い
 - ▶ 地域のコミュニティ活性化の担い手である商店街の皆さまのさまざまな取組みを支援

市町村の住民サービス向上や公共施設等の維持・管理に関する課題解決を支援するため、県内全市町村を対象に「未来創造“官民連携”勉強会」(PPP・PFIセミナー)を開催しました。

県内9か所にて計10回開催▶



彩の国さいたま人づくり広域連合の「政策課題共同研究」に参加し(民間企業初)、埼玉県・市町村職員とともに埼玉県の課題解決に向けた研究に取り組んでいます。

政策課題共同研究オープニングセレモニー▶



NPO法人って?

NPO (Nonprofit Organization) 法人…

特定非営利活動促進法に基づき、都道府県等から認証を受け設立された特定非営利活動法人のことです。「非営利」とは事業を通じて「利益を上げてはいけない」という意味ではなく、「利益を分配しない」ことを言います。

PPP・PFIって?

PPP (Public-Private Partnership) ・ PFI (Private Finance Initiative) …

PPPとは、官民連携・公民連携の考え方のことで、PFIはその手法のひとつとして、公共施設の建設・運営等で民間資金や経営能力を活用することを言います。



子どもたちの健やかな成長を応援します



大宮アルディージャの協力のもと、小学生を対象としたサッカー教室を開催しました。



埼玉県青少年夢のかけし事業に協力し、小学生を対象とした金融教育「目指せ日本一の銀行員～武蔵野銀行のお仕事体験～」を実施しました。

開催店舗

大宮支店、川口支店、川越支店、久喜支店、熊谷支店、県庁前支店、鴻巣支店、越谷支店、草加支店、所沢支店、戸田支店

お札を初めて
数えたよ!



お金って
重いなだね!



埼玉西武ライオンズの協力のもと、西武ドームで野球教室を開催しました。



県内4校の小学校音楽室にて、ヴァイオリニスト吉田恭子さんからプロが演奏するコンサートを開催しました。



地域の魅力を伝えます

「ぶらって笑顔新聞」は、当行全営業店ほか、立教大学、西武鉄道全駅、所沢市内(市役所・掲載店舗)、埼玉県観光課でお配りしています!

「ぶらって笑顔新聞」発行!

立教大学との産学連携協定に基づく取組みとして、隠れた地域資源を発掘し発信する取組みを行っています。

26年8月には、所沢で住み働く「3Sウーマン」にスポットを当てたタブロイド版「ぶらって笑顔新聞 西武新宿線マップ付」を発行し、3Sウーマンおすすめの飲食店を紹介しています。



3Sウーマン

地元埼玉で、背伸びをせず、自分のライフスタイルを確立しながら充実した暮らしをする20代後半30代前半の女性のこと。「ぶらって笑顔新聞」の作製を行った立教大学観光学部の学生が、「Simple」「Smart」「Saitama」の頭文字を取って命名。

埼玉県PR映像に協力 新入行員が「そうだ埼玉」に出演!

リズムカルな音楽とユニークな歌詞が埼玉県の魅力をPRする映像「そうだ埼玉」の制作に協力しました。

26年度新入行員119名が、「郷土愛」を元気いっぱいダンスで表現しています。



▲119名が元気にダンス!

「そうだ埼玉」

埼玉の魅力をPRするため、クリエイティブ・エージェンシー「天下茶夜」が制作したリズムカルな音楽と踊りが特徴的なPR映像。県内企業など46団体が参加している。

メイキングの様子▶



「そうだ埼玉」

作詞・作曲・歌 社会人ロックバンド「6才児」(全員が埼玉県出身)

(サビの部分)

この町に生まれてよかったと 毎日思わないけど 嫌だと思ったこともないぜ
そうだ埼玉 そうだ 埼玉 そうだ 埼玉 そうだ 埼玉 そうだ 埼玉



動画はコチラ▼

YouTube

[そうだ埼玉.comのURL] <http://soudasaitama.com/>

「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造プロジェクト」始動

26年9月、見沼たんぼを舞台とし、小麦生産を復活させ「6次産業化」を目指すプロジェクトを立ち上げました。



なぜ見沼たんぼで小麦？

さいたま市は麺類やパン、洋生菓子といった小麦製品の一大消費地でありながら、市内での小麦の作付面積・収穫量ともに減少していることから、小麦に着目しプロジェクトを立ち上げ、6次産業化を目指します。



6次産業って？

1次産業者である農林漁業者が、豊富な地域資源を有効活用し、原料供給だけでなく、2次産業（加工・製造）、3次産業（流通・販売）を展開する経営形態。豊富な地域資源を有効活用し、新たな付加価値を生み出す取組みです。



1次×2次×3次
=6次産業

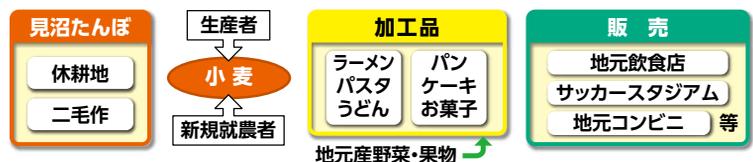


▲第1回研究会

プロジェクトイメージ



展開イメージ ▶▶▶



「私の好きな見沼たんぼ2014」写真コンクールに協賛

～受賞作品展をさいたま市内4か店のロビーにて開催～

「私の好きな見沼たんぼ」写真コンクール

- ・見沼たんぼ市民ネット（正式名称：見沼たんぼ・さいたま市&さいたま市民ネットワーク）主催の写真コンクール。見沼たんぼの魅力と大切さを広く伝えるため、平成20年度より毎年開催。
- ・本年度の応募作品は、さいたま市「見沼たんぼホームページ」にて閲覧可。
さいたま市「見沼たんぼのホームページ」
→<http://www.minumatanbo-saitama.jp/>

☆受賞作品の一部を本冊子の表紙デザインに使用させていただいております。



▲金賞、銀賞、銅賞、佳作に輝いた14点を展示

開催期間・開催店舗

- 平成26年10月20日(日)～12月30日(日) 大宮北支店
- 平成27年1月6日(日)～1月30日(金) 東浦和支店
- 平成27年2月3日(日)～2月27日(金) 北浦和支店
- 平成27年3月3日(日)～3月31日(日) 片柳支店

武蔵野銀行

LINE@
はじめました。

今すぐ登録!



武蔵野銀行

■経営理念

「地域共存」 豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。

「顧客尊重」 変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

▶プロフィール (平成26年9月末現在)

本店所在地 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8

ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>

設立 昭和27年3月6日

従業員数 2,322名

総資産 41,899億円

預金等残高 38,983億円

貸出金残高 31,584億円

資本金 457億円

自己資本比率 10.92%

▶武蔵野銀行グループ

株式会社武蔵野銀行

連結子会社

ぶざん総合リース株式会社 一般リース、延払取引、オートリース業務

ぶざん保証株式会社 個人向け融資に係る信用保証業務

むさしのカード株式会社 クレジットカード(JCB・VISA)、金銭の貸付、カード業務に係る信用保証業務

ぶざんシステムサービス株式会社 コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務

株式会社ぶざん地域経済研究所 県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、各種セミナーの開催

株式会社ぶざんキャピタル ベンチャー企業等への投資、経営相談

▶武蔵野銀行のあゆみ

昭和27年 4月	資本金1億円、本店を大宮市(現さいたま市)に置き8か店で開業
昭和44年 8月	新本店(現在地)完成
昭和44年 10月	東証第二部に上場(昭和45年8月東証第一部に上場)
昭和49年 4月	事務センター完成
昭和51年 1月	50店舗達成
昭和60年 3月	預金1兆円突破
昭和63年 3月	貸出金1兆円突破
平成10年 12月	投資信託の窓口販売業務開始
平成13年 4月	損害保険の窓口販売業務開始(平成14年10月生命保険の窓口販売業務開始)
平成16年 12月	証券仲介業務の開始
平成18年 1月	じゅうだん会共同化オンラインシステムに移行
平成19年 9月	預金3兆円突破
平成24年 4月	創業60周年を迎える
平成24年 9月	新事務センター竣工
平成25年 1月	吉川支店開設により県内全市(40市)支店網確立
平成25年 9月	貸出金3兆円突破
平成26年 4月	37年振りに東京へ出店「久米川支店」(東京都東村山市)



武蔵野銀行

ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8 TEL.048-641-6111(代)

発行/平成26年12月 編集/武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ

